

前橋市公共施設白書の改訂版の策定について

資産経営課

1 策定の趣旨

本市では、市民とともに将来の公共施設のあり方を考える基礎的な資料とすることを目的に、平成25年に「前橋市公共施設白書」を作成し、個々の施設の課題の検証や施設の見直しなどを実践してきました。今回、初版から5年が経過し、公共施設に係る個別課題は一定の検討が進んでいる状況であること及び施設を取巻く状況も変化していることを踏まえ、改めて公共施設全体の現状及び課題を整理し、市民への情報提供を行うとともに、引続き資産活用の基礎的資料として活用するために改訂版を策定しました。

2 構成及び概要について

構 成		概 要
第1章	前橋市の概要	人口の推移、歳出歳入の状況等
第2章	前橋市の公共施設の概要	公共施設の状況、将来の更新費用の推計、資産活用推進の方向性等
第3章	施設別の現状と課題	個別具体的な施設の現状と課題
第4章	公共施設の比較と現状	用途別、地区別及びエリア別の比較、トップ10施設の抽出、使用料の状況比較等
第5章	ファシリティマネジメントの取組状況	これまでの具体的な取組状況を資産活用の3本柱を軸に整理
別冊	施設評価調書	第3章の基礎資料である施設評価調書の抜粋

3 施設ごとの今後の検討の視点について（※（）内は、白書の掲載ページ）

第3章で示した現状と課題を整理すると、今後の検討の視点は次のようになります。なお、施設数や施設規模の適正化については、建替時に検討することを原則としますが、早急に検討が必要な施設については、行革計画等に位置付け具体的に検討を行います。

(1) 今後も計画的に保全を行い、維持すべき施設
予防保全モデル8施設（保健センター(115)、斎場(128)、本庁舎(134)等）、文化財施設（臨江閣(36)等）等
(2) 施設数や施設規模の適正化を検討すべき施設
市民サービスセンター等(24)、図書館本館(44)、体育館(48)、プール(50)、福祉作業所(110)、市営住宅(121)等
(3) 民活を含む運営方法、受益者負担の見直しを検討すべき施設
温泉施設(55)、前橋テルサ(63)、農業体験研修施設(68)等

4 完成時期及び周知方法

(1) 完成時期 平成31年3月

(2) 周知方法 市ホームページ

各市民サービスセンター・公民館・コミュニティーセンターへ配布
出前アンケート及びパネル展示（5月以降） 等